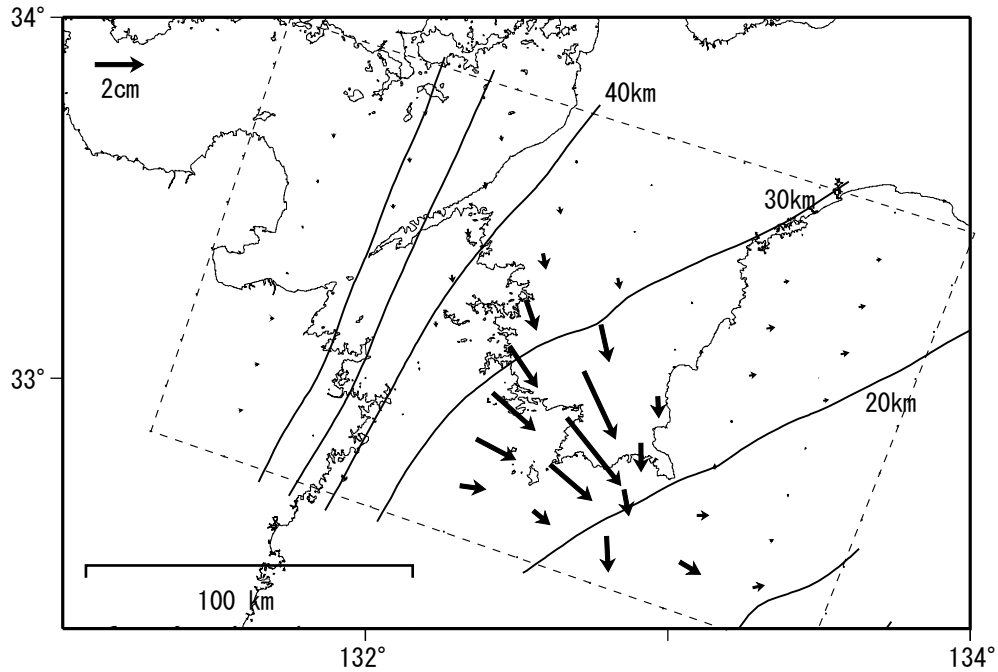


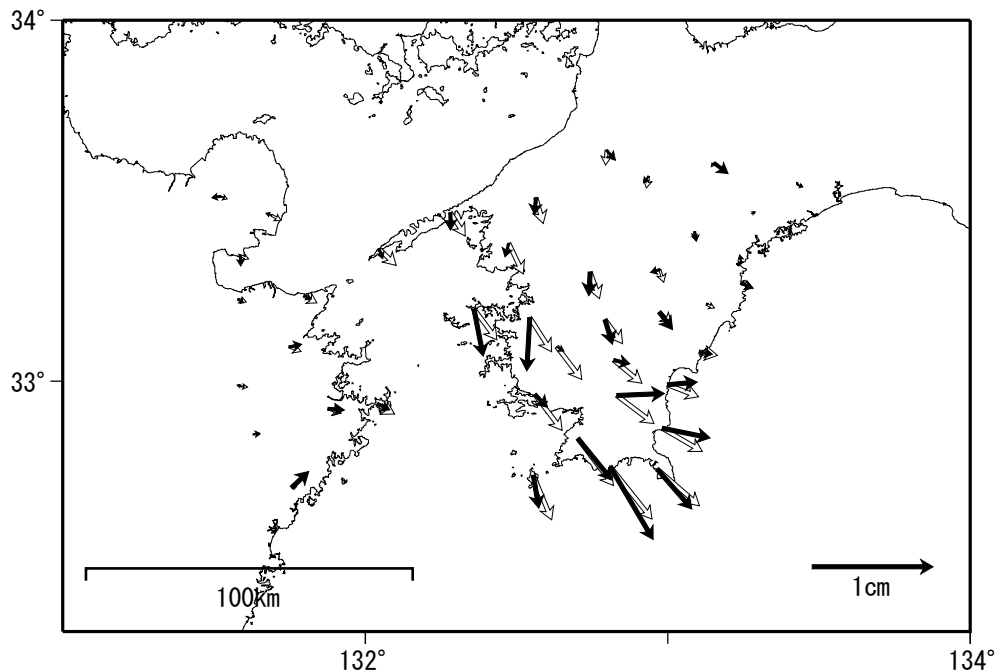
推定されたプレート境界滑り分布

四国南西部のプレート境界に最大約4cmの滑りが推定された。



点線の長方形はプレート間滑りを推定した領域である。等高線はプレート境界の深さを示す。黒矢印は陸側プレートのフィリピン海プレートに対する動きを示す。推定マグニチュードはMw6.3(剛性率30GPa)。1997年と2003年のスローリップは、滑り領域の中心が豊後水道にあって今回の滑り領域と異なり、マグニチュードはいずれもMw7.0と推定されている。

水平変動ベクトルの観測値とモデル計算値の比較



2006/1/1-2008/1/1でトレンド、周期成分を推定し取り除いてある。黒矢印が観測値、白抜き矢印が計算値を示す。